

SB-H50

Web Config(TM-Intelligent) API ユーザーズマニュアル

概要

WebConfig APIの概要と使用方法について説明します。

Web API 仕様

Web APIの仕様について説明します。

リファレンス

本機から取得できる項目、設定できる項目と値について説明します。

ご注意

- 本書の内容の一部または全部を無断で転載、複写、複製、改ざんすることは固くお断りします。
- 本書の内容については、予告なしに変更することがあります。最新の情報はお問い合わせください。
- 本書の内容については、万全を期して作成いたしましたが、万一ご不審な点や誤り、記載もれなど、お気づきの点がありましたらご連絡ください。
- 運用した結果の影響については、上項に関わらず責任を負いかねますのでご了承ください。
- 本製品がお客様により不適切に使用されたり、本書の内容に従わずに取り扱われたり、またはエプソンおよびエプソン指定の者以外の第三者により修理・変更されたことなどに起因して生じた損害などにつきましては、責任を負いかねますのでご了承ください。
- エプソン純正品およびエプソン品質認定品以外のオプションまたは消耗品を装着してトラブルが発生した場合には、責任を負いかねますのでご了承ください。

商標について

掲載している製品名は各社の商標または登録商標です。

© Seiko Epson Corporation 2024–2025

安全のために

記号の意味

本書では以下の記号が使われています。それぞれの記号の意味をよく理解してから製品を取り扱ってください。

参考

補足説明や知っておいていただきたいことを記載しています。

使用制限

本製品を航空機・列車・船舶・自動車などの運行に直接関わる装置・防災防犯装置・各種安全装置など機能・精度などにおいて高い信頼性・安全性が必要とされる用途に使用される場合は、これらのシステム全体の信頼性および安全維持のためにフェールセーフ設計や冗長設計の措置を講じるなど、システム全体の安全設計にご配慮いただいた上で当社製品をご使用いただくようお願いいたします。

本製品は、航空宇宙機器、幹線通信機器、原子力制御機器、医療機器など、きわめて高い信頼性・安全性が必要とされる用途への使用を意図しておりませんので、これらの用途には本製品の適合性をお客様において十分ご確認の上、ご判断ください。

本書について

本書の目的

本書は、WebConfig API を利用して、本機の TM インテリジェント機能の設定値を取得・更新するためのアプリケーションを開発するために必要な情報を、開発技術者に提供することを、その目的としています。

本書の構成

本書は以下のように構成されています。

第 1 章 [概要](#)

第 2 章 [Web API 仕様](#)

第 3 章 [リファレンス](#)

目次

■ 安全のために	3
記号の意味	3
■ 使用制限	3
■ 本書について	4
本書の目的	4
本書の構成	4
■ 目次	5

概要..... 6

■ WebConfig API とは	6
■ 使用方法	7
設定値の取得と更新	7
ダイジェスト認証	9

Web API 仕様 10

■ URL および CGI	10
■ HTTP メソッド	10
■ レスポンス	10
レスポンスヘッダー	10
レスポンスボディ	11
■ リクエスト	12
送信容量	12
リクエストヘッダー	12
リクエストボディ	12
■ パラメーター	13
GET メソッド	13
PUT メソッド	14
使用不可能メソッドを指定した場合	15
■ Characters	16
文字コード	16
エスケープ処理	16
パスワード	16
■ リクエストとレスポンス例	17

リファレンス 23

概要

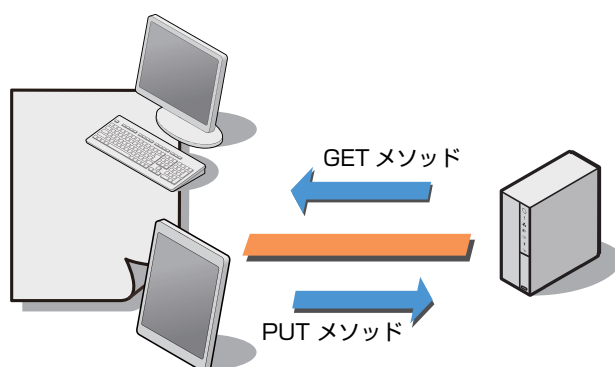
WebConfig API とは

WebConfig API とは、本機の TM インテリジェント機能の設定値を取得・更新するために、お客様の Web アプリケーションに組み込んでいただく API です。

HTTP (Hyper Text Transfer Protocol) で定義されている GET メソッドで設定値を取得し、PUT メソッドで設定を更新できます。データは JSON (JavaScript Object Notation) フォーマットです。

PUT メソッドで設定を更新した後、本機をリセットすることで、本機の設定値が更新されます。

Digest 認証と SSL/TLS 通信でセキュアな環境を実現しています。

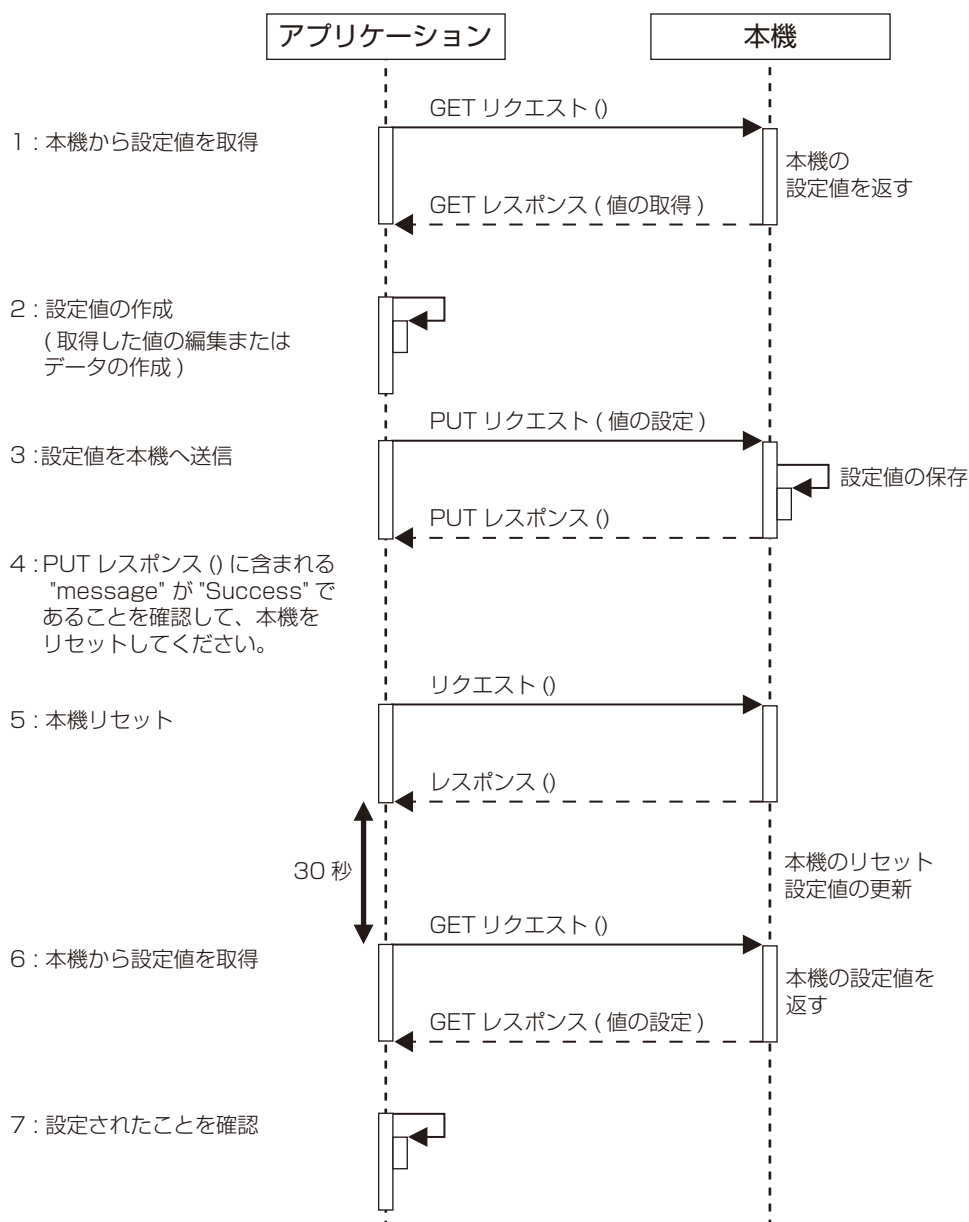


使用方法

設定値の取得と更新

ここでは、WebConfigAPI を使用して本機から設定値を取得して更新するための、システムのシーケンスと、各要素を説明します。

設定値の取得 / 設定のシーケンス



本機から設定値を取得

GET リクエスト () で、本機から設定値を取得します。以下の URL から取得できます。

- すべてのデータを取得する場合
`https://<本機の IP アドレス>/webconfig/api/v1/webconfig.cgi`
- 特定のキーを取得する場合
`https://<本機の IP アドレス>/webconfig/api/v1/webconfig.cgi?keyname=<keyname1>,<keyname2>...`

GET レスポンス () に本機の設定値が含まれています。データ形式は JSON フォーマットです。

設定値の作成

本機に設定する各キーの値を作成します。

作成は、GET レスポンス () で取得した JSON を編集する方法と、設定するキーだけを作成する方法があります。

- 本機から取得した JSON を編集する

例:

取得した JSON

```
...
"ProxyInfo": {
  "ID": "",
  "Password": "(Not registered)",
  "Port": "80",
  "Url": ""
},
...
```

編集データ

```
...
"ProxyInfo": {
  "Port": "80",
  "Url": "http://10.10.10.10"
},
...
```



- 設定するキーの値だけを作成する
本書の [23 ページ「リファレンス」](#) を参照して、key と値を指定してください。

設定値を本機へ送信する

設定した JSON を、PUT リクエスト () で本機へ送信します。

`https://<本機の IP アドレス>/webconfig/api/v1/webconfig.cgi`

レスポンスの確認

本機は PUT リクエストを受信すると、PUT レスポンス () を返します。

設定値が正常に処理されると、PUT レスポンス () の "message" パラメーター は "Success" になります。

参考

PUT レスポンス () の値は、設定後の値ではなく、PUT リクエスト () の設定値です。

本機のリセット

本機が PUT リクエスト () を正常に処理しただけでは、本機の設定値は更新されません。設定値を更新するには、本機をリセットします。

`https://<本機の IP アドレス>/webconfig/api/v1/reset.cgi`

本機は、レスポンス () 送信後、リセット動作を開始します。リセットを終了するまでに約 30 秒かかります。

本機から設定を取得

設定値が更新されたことを確認するために、本機の設定値を取得します。レスポンス () 受信後に、本機がリセットするための時間をカウントしてから、GET リクエスト () で本機の設定値を取得します。

- すべてのデータを取得
`https://< 本機の IP アドレス >/webconfig/api/v1/webconfig.cgi`
- 特定のキーを取得
`https://< 本機の IP アドレス >/webconfig/api/v1
/webconfig.cgi?keyname=<keyname1>,<keyname2>...`

返ってきた GET レスポンス () のレスポンスボディに、本機の設定値が含まれています。データ形式は JSON フォーマットです。

設定されたことの確認

本機に設定した各キーの値と、本機から取得した JSON の設定値を比較して、正しく修正されたかどうかを確認します。

ダイジェスト認証

本機と通信するにはダイジェスト認証が必要です。

本機のデフォルトの ID は「epson」、パスワードは WebConfig のパスワードと連動しています。初期設定は本機の詳細取扱説明書を参照してください。

Web API 仕様

URL および CGI

- 設定の取得または更新：
https://< 本機の IP アドレス >/webconfig/api/v1/webconfig.cgi
- 本機リセット：
https://< 本機の IP アドレス >/webconfig/api/v1/reset.cgi

HTTP メソッド

- GET: 設定値を取得します。
 - PUT: 設定値を更新します。
- その他、OPTIONS、HEAD をサポートしています。

レスポンス

レスポンスヘッダー

ヘッダー	HTTP メソッド				内容
	GET	PUT	HEAD	OPTI ONS	値
Content-Type:	●	●	●	●	-
					application/json; charset=utf-8
Access-Control- Allow-Origin:	●	●	●	●	クロスドメイン通信を許可するためのヘッダーで、送信元を制限しない場合に "*" を指定します。
					*
Access-Control- Allow-Methods:	●	●	●	●	クロスドメイン通信で許可するメソッドを伝えます。
					PUT, GET, OPTIONS, HEAD
Access-Control- Allow-Headers:	●	●	●	●	クロスドメイン通信の許容可能なリクエストヘッダーを伝えます。
					Content-Type, Content-Length, Authorization
X-Content-Type- Options:	●	●	●	●	ブラウザが、JSON を JSON 以外のデータとして認識することを防ぎます。 (Internet Explorer8 以降で有効)
					nosniff

ヘッダー	HTTP メソッド				内容
	GET	PUT	HEAD	OPTIONS	値
X-XSS-protection:	●	●	●	●	ブラウザのXSSフィルター機能を有効化します。
					1; mode=block
X-Frame-Options:	●	●	●	●	クリックジャッキング攻撃を防止します。 frame, iframe でのスクリプト実行を防止することができます。
					deny
Content-Security-Policy:	●	●	●	●	クロスサイトスクリプティング (XSS) やデータインジェクション攻撃を含む、よく知られた種類の攻撃を検出して軽減します。
					default-src 'none'
WWW-Authenticate:	●	●	●	●	Digest 認証が必要ですが、認証情報がなかったり、認証に失敗(パスワードが間違っているなど)したりした場合に指定されます。Digest 認証が完了しているときには指定されません。
					Digest realm="<IP address>", nonce="xx", qop="auth"

レスポンスボディ

HTTP メソッド	内容
GET	本機の設定値が返されます。 戻り値は、パラメーターを参照してください。 詳細は 13 ページ「GET メソッド」 を参照してください。
PUT	リクエストボディが返されます。本機から取得した設定値ではありません。 詳細は 14 ページ「PUT メソッド」 を参照してください。

リクエスト

送信容量

リクエストメッセージ（リクエストヘッダーおよびリクエストボディ）の最大容量は 65533 バイトです。

リクエストヘッダー

以下のように指定してください。

ヘッダー	内容
Content-Type:	application/json; charset=utf-8
Authorization:	Digest username="epson" realm="ByPassword" nonce="xxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxx", qop="auth" ,,,,,,

リクエストボディ

HTTP メソッド	内容
GET	本機から現在の設定値を取得します。 詳細は 13 ページ「GET メソッド」 を参照してください。
PUT	本機に設定する値を記載します。 詳細は 14 ページ「PUT メソッド」 を参照してください。

パラメーター

GET メソッド

GET メソッド：現在の設定値を取得します。

GET パラメーター	レスポンス (ステータス)	レスポンス (ボディ)	内容
<ul style="list-style-type: none"> すべての設定値を取得する場合 GET パラメーターなし 特定の設定値を取得する場合： GET パラメーターによる キー名を指定します。 [フォーマット] keyname=<取得したい JSON キー名> 複数の設定値を取得する場合： 複数のキー名をカンマで区 切ります。 [フォーマット] keyname=<keyname1>,<keyname2>... 	200 OK	{ "Setting": <JSON object for the setting item specified in the key> "message": "Success", }	設定値の取得が成功しました。 キー名が指定された場合、 指定されたキーのオブジェ クトのみを応答します。
	503 Service Unavailable	{ "Setting": {}, "message": "Cannot communi- cate with the printer : The other host interface may hold the com- munication", }	Port9100 で通信する権限 を取得できませんでした。 本機が使用中で通信できま せん。
	500 Internal Server Error	{ "Setting": {}, "message": "Failed to get the settings" }	設定値の取得に失敗しまし た。
	500 Internal Server Error	{ "message": "Failed: No enough memory" }	メモリー不足で実行できま せんでした。 本機を再起動しても問題が 発生する場合、修理が必要 です。
	400 Bad Request	{ "Setting": {}, "message": "Specified key is not exist" }	設定値の取得に失敗しまし た。 keyname= % 設定値の JSON に存在し ないキー名 % 設定値の JSON に存在しな いキーを指定しています。
	400 Bad Request	{ "message": "Invalid Parameter" }	keyname 以外のパラメー ターがあります。
	401 Authentication Required	As authentication is carried out by lighttpd, the response body is returned by lighttpd.	認証情報が必要です。

keyname に複数キーを指定した場合、いくつかの keyname が不正で取得できなくても、1 つの keyname に対する設定値を取得すると "Success" が返ります。そのため、各キーの値を確認してください。

PUT メソッド

PUT メソッド：設定値を更新します。

PUT パラメーター	レスポンス (ステータス)	レスポンス (ボディ)	内容
<p>以下の方法で、複数の keyname と値を指定します。</p> <p>[フォーマット]</p> <pre>{ "Setting" : { <keyname1 you want to modify> : <value you want to set>, <keyname2 you want to modify> : <value you want to set>, ... }</pre> <ul style="list-style-type: none"> keyname と値は 23 ページ「リファレンス」 の説明に従って指定してください。 PUT パラメーターの文字はすべてエスケープ処理をしてください。16 ページ「エスケープ処理」 を参照してください。 	200 OK	{ "Setting": <JSON object for the setting item specified in the key> "message": "Success", }	更新が成功しました。 8 ページ「本機のリセット」 を参照してください
	413 Request Entity Too Large	{ "message": "Request Entity Too Large" }	データが大きすぎます。 Setting パラメーター (URL データコード後) の最大サイズは、 12 ページ「送信容量」 を参照してください。
	500 Internal Server Error	{ "message": "Failed to update the settings" }	更新が失敗しました。
	500 Internal Server Error	{ "message": "Failed: No enough memory" }	メモリー不足で更新できませんでした。 本機を再起動しても問題が発生する場合、修理が必要です。
	503 Service Unavailable	{ "message": "Cannot communicate with the printer : The other host interface may hold the communication" }	Port9100 で通信する権限を取得できませんでした。 本機が使用中で通信できません。
	401 Authentication Required	As authentication is carried out by lighttpd, the response body is returned by lighttpd.	認証情報が必要です。
	400 Bad Request	{ "message": "Invalid Parameter" }	Setting がありません。
	400 Bad Request	{ "message": "Invalid Parameter" }	Setting 以外のパラメーターがあります。
	400 Bad Request	{ "message": "Setting values should be JSON object" }	設定値が JSON 以外の形式です。

PUT パラメーター	レスポンス (ステータス)	レスポンス (ボディ)	内容
	400 Bad Request	{ "message": "Special characters must be escaped" }	JSON のエスケープ処理 が不正です。

使用不可能メソッドを指定した場合

“405 Method Not Allowed” または “403 Forbidden” が返ります。

Characters

文字コード

UTF-8

エスケープ処理

PUT リクエスト () で送信する設定文字列は、JSON の RFC (Request for Comments) に従い、以下のエスケープ処理をしてください。

GET レスポンス () で取得する JSON 文字列も、以下にしたがってエスケープされます。

エスケープ表記	元の文字	内容
\"	"	ダブルクォーテーション
\\	\	バックスラッシュ
\b	-	バックスペース
\f		改ページ
\n		改行
\r		キャリッジリターン (LF)
\t		タブ
\/	/	スラッシュ

パスワード

パスワードは、セキュリティの確保のために秘匿化しています。以下のように表示されます。

- 登録されている : (Registered)
- 登録されていない : (Not Registered)

"Registered" と "Not Registered" はパスワードには使用できません。

パスワードを登録 / 変更する場合は、文字列 (Registered) や (Not Registered) を設定したいパスワードに置き換えてください。

リクエストとレスポンス例

取得、更新するキーは以下のとおりです。

- ePOS-Print: ePOS-Print を ON にします。工場出荷時には ON になっています。
- ePOS-Device: ePOS-Device を ON にします。工場出荷時には ON になっています。
- ProxyInfo: ProxyInfo を ON にします。工場出荷時には OFF になっています。
- Printer List: 本機と本機に接続したデバイスのデバイス ID などを設定します。
- Server Direct Print: サーバーダイレクトプリントのサーバーやアプリケーションの指定をします。
- Status Notification: ステータス通知のサーバーやアプリケーションの指定をします。

GET リクエスト ()

リクエストヘッダー

```
GET /webconfig/api/v1/webconfig.cgi?keyname=ePOS-Print,ePOS-Device,ProxyInfo HTTP/1.1
Host: http://192.168.192.20/
Authorization: Digest username="epson", realm="ByPassword", nonce="", url="/webconfig/api/v1/webconfig.cgi",
response="f708199215ba938f85ae77c373c192c2", opaque=""
```

リクエストボディはありません

GET レスポンス

レスポンスボディに、ePOS-Print、ePOS-Device、ProxyInfo、PrinterList、ServerDirectPrint と StatusNotification の設定値が返ります。

プリンターに子プリンターが設定されている場合は、PrinterList の Printer2 以降に各プリンターの設定値が返ります。

レスポンスヘッダー

```
HTTP/1.1 200 OK
Content-Type: application/json; charset=utf-8
X-Content-Type-Options: nosniff
X-XSS-protection: "1; mode=block"
X-Frame-Options: deny
Content-Security-Policy: default-src 'none'
Access-Control-Allow-Origin: *
Access-Control-Allow-Private-Network: true
Access-Control-Allow-Methods: PUT, GET, OPTIONS, HEADER
Access-Control-Allow-Headers: Content-Type, Content-Length, Authorization
Content-Length: 3519
Connection: close
Date: Wed, 04 Jan 2023 17:47:21 GMT
Server: lighttpd
```

レスポンスボディー

```
{
  "Setting": {
    "ProxyInfo": {
      "ID": "",
      "Password": "(Not registered)",
      "Port": "80",
      "Url": ""
    },
    "ePOS-Device": {
      "Active": "ON"
    },
    "ePOS-Print": {
      "Active": "ON"
    }
  }
  "PrinterList": {
    "Printer1": {
      "DeviceID": "local_printer",
      "IPAddress": "127.0.0.1",
      "ModelName": "TM-m30III"
    },
    "ServerDirectPrint": {
      "Active": "OFF",
      "CutReserveTimeout": "2",
      "ID": "",
      "Interval1": "5",
      "Interval2": "5",
      "Interval3": "5",
      "Name": "ECCN905633",
      "Password": "(Not registered)",
      "Url1": "",
      "Url2": "",
      "Url3": "",
      "UseProxy": "OFF",
      "UseServerAuthentication": "OFF",
      "UseUrlEncode": "ON"
    }
  }
}
```

```
{
  "StatusNotification": {
    "Active": "OFF",
    "ID": "",
    "Interval": "5",
    "Name": "ECCN905633",
    "Password": "(Not registered)",
    "Url": "",
    "UseProxy": "OFF",
    "UseServerAuthentication": "OFF",
    "UseUrlEncode": "ON"
  },
  "message": "Success"
}
```

PUT リクエスト

取得したデータに以下の編集をして、リクエストボディに追加します。指定しないキーは削除できます。
ePOS-Print

- Active: ON
(初期設定は ON なので設定の必要はありません。)

ProxyInfo

- URL: "http://10.10.10.10"
- Port: "8080"

Printer List

- Printer1
- DeviceID: "local_printer"
アプリケーションに合わせて設定できます。
- IPAddress: "127.0.0.1",
設定を変更しないでください。変更すると印刷できません。
- ModelName: "TM-m30III"
設定を変更しないでください。本機に接続したプリンターを自動認識します。

ServerDirectPrint

- Active: ON
- Name: Floor_Printer
- url1: サーバーダイレクトプリントのサーバーアドレス / サンプルプログラムパス

StatusNotification

- Active: ON
- Name: Floor_Printer
- url1: ステータス通知のサーバーアドレス / サンプルプログラムパス

リクエストヘッダー

```
PUT /webconfig/api/v1/webconfig.cgi HTTP/1.1
<http://192.168.192.20/>
Authorization: Digest username="epson", realm="ByPassword", nonce="", uri="/webconfig/api/v1/webconfig.cgi",
response="0a3e57cca43d8221d942d13aeb377658", opaque=""
Content-Type: application/json
```

リクエストボディ

```
{
  "Setting": {
    "ePOS-Print": {
      "Active": "ON"
    },
    "ProxyInfo": {
      "Url": "http://10.10.10.10"
      "Port": "local_printer"
    }
  },
  "PrinterList": {
    "Printer1": {
      "DeviceID": "local_printer",
      "IPAddress": "127.0.0.1",
      "ModelName": "TM-m30III"
    }
  },
  "ServerDirectPrint": {
    "Active": "ON",
    "CutReserveTimeout": "2",
    "ID": "",
    "Interval1": "5",
    "Interval2": "5",
    "Interval3": "5",
    "Name": "Floor_Printer",
    "Url1": "http://192.168.192.10/Test_print.php",
    "Url2": "",
    "Url3": "",
    "UseProxy": "OFF",
    "UseServerAuthentication": "OFF",
    "UseUrlEncode": "ON"
  },
  "StatusNotification": {
    "Active": "ON",
    "ID": "",
    "Interval": "5",
    "Name": "Floor_Printer",
    "Url": "http://192.168.192.10/Test_status.php",
    "UseProxy": "OFF",
    "UseServerAuthentication": "OFF",
    "UseUrlEncode": "ON"
  }
}
```

PUT レスポンス

レスポンスヘッダー

```
HTTP/1.1 200 OK
Content-Type: application/json; charset=utf-8
X-Content-Type-Options: nosniff
X-XSS-protection: "1; mode=block"
X-Frame-Options: deny
Content-Security-Policy: default-src 'none'
Access-Control-Allow-Origin: *
Access-Control-Allow-Private-Network: true
Access-Control-Allow-Methods: PUT, GET, OPTIONS, HEADER
Access-Control-Allow-Headers: Content-Type, Content-Length, Authorization
Content-Length: 3519
Connection: close
Date: Wed, 04 Jan 2023 17:47:21 GMT
Server: lighttpd
```

レスポンスボディ

リクエストボディと同じ値が返ります。

```
{
  "Setting": {
    "ePOS-Print": {
      "Active": "ON"
    },
    "ProxyInfo": {
      "Url": "http://10.10.10.10"
      "Port": "local_printer"
    }
  },
  "PrinterList": {
    "Printer1": {
      "DeviceID": "local_printer",
      "IPAddress": "127.0.0.1",
      "ModelName": "TM-m30III"
    }
  },
  "ServerDirectPrint": {
    "Active": "ON",
    "CutReserveTimeout": "2",
    "ID": "",
    "Interval1": "5",
    "Interval2": "5",
    "Interval3": "5",
    "Name": "Floor_Printer",
    "Url1": "http://192.168.192.10/Test_print.php",
    "Url2": "",
    "Url3": "",
    "UseProxy": "OFF",
    "UseServerAuthentication": "OFF",
    "UseUrlEncode": "ON"
  },
  "StatusNotification": {
    "Active": "ON",
    "ID": "",
    "Interval": "5",
    "Name": "Floor_Printer",
    "Url": "http://192.168.192.10/Test_status.php",
    "UseProxy": "OFF",
    "UseServerAuthentication": "OFF",
    "UseUrlEncode": "ON"
  }
}
"message": "Success : Please confirm by get again and You need to reset the printer to apply settings."
```

リファレンス

本章では、プリンターから取得できる項目と、設定できる項目と値について説明します。

GET メソッドの場合、レスポンスボディに含まれます。

PUT メソッドの場合、リクエストボディに入れてください。

PUT リクエストのリクエストボディを作成する際には、更新する項目のみを記述することもできますし、GET したレスポンスボディに含まれる項目を使って作成することもできます。

Key 1	Key 2	Key 3	Key 4	内容		
				値		
ePOS-Print				ePOS-Print の設定		
				Active	ePOS-Print の有効 / 無効を指定します。 ePOS-Device が有効のときは、設定を変更できません。	
					"OFF"、"ON"	
Printer List				WebConfigAPI で設定するプリンターです。		
				Printer1	本機の設定	
					DeviceID	本機に登録してあるプリンターのデバイス ID を指定します。
						1 文字以上、30 文字以内の文字列で指定します。 使用可能文字は、半角英数字 (0 ～ 9、a ～ z、A ～ Z)、 "_"(アンダーバー)、"."(ピリオド)、"-"(ハイフン) です。 他のデバイス ID と重複しないようにします。
					IPAddress	変更しないでください。
					ModelName	変更しないでください。本機に接続したプリンターの機種名が自動で入ります。
ProxyInfo				プロキシーサーバーの設定		
Url				プロキシーサーバーの URL を指定します。		
				空の文字列または "http://" や "https://" から始まる 2043 文字以内の文字列 使用可能な文字は、半角英数字 (0 to 9、a to z、A to Z)、 "_"、"-"、"."、"/"、"!"、"~"、"*"、"'"、"(", ")", "[", "]", ";", "?", ":", "@", "&", "=", "\$", "%", "#", "+" です。		
				Port	プロキシーサーバーのポート番号を指定します。	
					"0" ～ "65535"	
				ID	プロキシーサーバーの認証 ID を指定します。	
空の文字列または 1 ～ 30 文字以内の文字列 使用可能文字は、半角英数字 (0 ～ 9、a ～ z、A ～ Z)、 "_"(アンダーバー)、"."(ピリオド)、"-"(ハイフン) です。						

Key 1	Key 2	Key 3	Key 4	内容 値
	Password			<p>プロキシサーバーの認証パスワードを指定します。</p> <p>空の文字列または 1 ～ 30 文字以内の文字列 使用可能文字は、半角英数字 (0 ～ 9、a ～ z、A ～ Z)、 "_" (アンダーバー)、"." (ピリオド)、"-" (ハイフン) です。 以下の文字列は指定できません。 "Registered"、"Not Registered"</p>
ServerDirectPrint				サーバーダイレクトプリントの設定
	Active			<p>サーバーダイレクトプリントの有効 / 無効を指定します。</p> <p>"OFF"、"ON"</p>
	Name			<p>通信元を特定するための ID (サーバーへ送信する識別情報) を指定します。</p> <p>空の文字列または 1 ～ 30 文字以内の文字列 使用可能文字は、半角英数字 (0 ～ 9、a ～ z、A ～ Z)、 "_" (アンダーバー)、"." (ピリオド)、"-" (ハイフン) です。 初期値はプリンターのシリアル番号です。 空の文字列を指定した場合はプリンターのシリアル番号が設定されます。</p>
	ID			<p>ダイジェスト認証用の ID を指定します。</p> <p>空の文字列または 1 ～ 30 文字以内の文字列 使用可能文字は、半角英数字 (0 ～ 9、a ～ z、A ～ Z)、 "_" (アンダーバー)、"." (ピリオド)、"-" (ハイフン) です。</p>
	Password			<p>ダイジェスト認証用のパスワードを指定します。</p> <p>空の文字列または 1 ～ 30 文字以内の文字列 使用可能文字は、半角英数字 (0 ～ 9、a ～ z、A ～ Z)、 "_" (アンダーバー)、"." (ピリオド)、"-" (ハイフン) です。 以下の文字列は指定できません。 "Registered"、"Not Registered"</p>
	Url1/ Url2/ Url3			<p>サーバーダイレクトプリントでアクセスするサーバー 1、サーバー 2、サーバー 3 の URL とアプリケーションのパスを指定します。</p> <p>空の文字列または "http://" や "https://" から始まる 2043 文字以内の文字列 使用可能な文字は、半角英数字 (0 ～ 9、a ～ z、A ～ Z)、 "_"、"-"、"."、"/"、"!"、"@"、"*"、"(", ")", "[", "]", ";", "?", ":", "@", "&", "=", "\$", "%", "#", "+" です。</p>
	Interval1/ Interval2/ Interval3			<p>サーバー 1、サーバー 2、サーバー 3 のデータ取得間隔 (秒) を指定します。</p> <p>"0" ～ "86400"</p>
	UseServerAuthentication			<p>サーバー認証 (HTTPS) の有効 / 無効を指定します。</p> <p>"OFF"、"ON"</p>

Key 1	Key 2	Key 3	Key 4	内容
				値
	UseProxy			プロキシサーバーの有効 / 無効を指定します。
				"OFF"、"ON" 本設定が "ON" の場合、ProxyInfo を指定する必要があります。
	UseUrlEncode			URL エンコードの有効 / 無効を指定します。
				"OFF"、"ON"
StatusNotification				ステータス通知の設定をします。
	Active			ステータス通知機能の有効 / 無効を指定します。
				"OFF"、"ON"
	Name			通信元を特定するための ID(サーバーへ送信する識別情報) を指定します。
				空の文字列または 1 ～ 30 文字以内の文字列 使用可能文字は、半角英数字 (0 ～ 9、a ～ z、A ～ Z)、 "_"(アンダーバー)、"." (ピリオド)、"-" (ハイフン) です。 初期値はプリンターのシリアル番号です。 空の文字列を指定した場合はプリンターのシリアル番号 が設定されます。
	ID			ダイジェスト認証用の ID を指定します。
				空の文字列または 1 ～ 30 文字以内の文字列 使用可能文字は、半角英数字 (0 ～ 9、a ～ z、A ～ Z)、 "_"(アンダーバー)、"." (ピリオド)、"-" (ハイフン) です。
	Password			ダイジェスト認証用のパスワードを指定します。
				空の文字列または 1 ～ 30 文字以内の文字列 使用可能文字は、半角英数字 (0 ～ 9、a ～ z、A ～ Z)、 "_"(アンダーバー)、"." (ピリオド)、"-" (ハイフン) です。 以下の文字列は指定できません。 "Registered"、"Not Registered"
	Url			ステータス通知のデータ送信先サーバー URL とアプリ ケーションのパスを指定します。
				空の文字列または "http://" や "https://" から始まる 2043 文字以内の文字列 使用可能な文字は、半角英数字 (0 ～ 9、a ～ z、A ～ Z)、 "_"、"-"、"_"、"/"、"!","*","'", "("、")"、"["、"]"、";"、"?" 、":","@"、"&"、"="、"\$"、"%","#"、"+" です。
	Interval			サーバーへのデータ送信インターバル時間 (秒) を指定 します。
				"0" ～ "86400"
	UseServerAuthentication			サーバー認証 (HTTPS) の有効 / 無効を指定します。
				"OFF"、"ON"

Key 1	Key 2	Key 3	Key 4	内容
				値
	UseProxy			プロキシサーバーの有効 / 無効を指定します。 本設定が "ON" の場合、ProxyInfo を指定する必要があります。
				"OFF"、"ON"
	UseUrlEncode			URL エンコードの有効 / 無効を指定します。
				"OFF"、"ON"
ePOS-Device				ePOS-Device の設定
	Active			ePOS-Device の有効 / 無効を指定します。
				"OFF"、"ON"
KeyInputDevice				接続するキーボードの設定
	KeyboardLayout			接続するキーボードのレイアウトを指定します。
				US、JP、DE、FR、IT、ES、GB
	MultipleKeyInputDeviceSupport			変更しないでください。
KeyInputDeviceList				入力デバイスの設定
	KeyInputDevice1			
		ControlScript	HID バーコードスキャナーを利用する場合は Scanner_Generic.js を指定します。 CDCACM バーコードスキャナーを利用する場合は Scanner_Serial.js を指定します。 キーボードを利用する場合は Keyboard_Generic.js を指定します。	
		DeviceGroup	スキャナーの種類を指定します。 group_hid または group_cdcacm を指定します。	
		DeviceID	周辺機器のデバイス ID を指定します。	
			1 文字以上、30 文字以内の文字列 使用可能文字は、半角英数字 (0 ~ 9、a ~ z、A ~ Z)、 "_" (アンダーバー)、"." (ピリオド)、 "-" (ハイフン) です。 他のデバイス ID と重複しないようにします。	
		InterfaceNumber	変更しないでください。	
		PID	周辺機器の USB の PID を指定します。	
		ProductName	周辺機器の USB の ProductName を指定します。	
		VID	周辺機器の USB の VID を指定します。	
VendorName	周辺機器の USB の VendorName を指定します。			

Key 1	Key 2	Key 3	Key 4	内容 値
	KeyInputDevice2~5			
		ControlScript		HID バーコードスキャナーを利用する場合は Scanner_Generic.js を指定します。 CDCACM バーコードスキャナーを利用する場合は Scanner_Serial.js を指定します。 キーボードを利用する場合は Keyboard_Generic.js を指定します。
		DeviceGroup		スキャナーの種類を指定します。 group_hid または group_cdcacm を指定します。
		DeviceID		周辺機器のデバイス ID を指定します。
				1 文字以上、30 文字以内の文字列 使用可能文字は、半角英数字 (0 ~ 9、a ~ z、A ~ Z)、 "_" (アンダーバー)、"." (ピリオド)、 "-" (ハイフン) です。 他のデバイス ID と重複しないようにします。
		InterfaceNumber		変更しないでください。
		PID		周辺機器の USB の PID を指定します。
		ProductName		周辺機器の USB の ProductName を指定します。
		VID		周辺機器の USB の VID を指定します。
		VendorName		周辺機器の USB の VendorName を指定します。
DeviceControlProgramList				
	DeviceControlProgram1			
		ControlScript		デバイス制御プログラム名を指定します。 OposCATSTHandler と OposCashChangerHandler を指定します。
		Baudrate		周辺機器のシリアル通信設定を指定します。
		DataBit		
		FlowControl		
		Parity		
		StopBit		
		DeviceID		周辺機器のデバイス ID を指定します。
				1 文字以上、30 文字以内の文字列 使用可能文字は、半角英数字 (0 ~ 9、a ~ z、A ~ Z)、 "_" (アンダーバー)、"." (ピリオド)、 "-" (ハイフン) です。 他のデバイス ID と重複しないようにします。
		DeviceType		デバイス制御プログラムの種類を指定します。 type_cash_changer または type_cat を指定します。

Key 1	Key 2	Key 3	Key 4	内容
				値
		InterfaceNumber		変更しないでください。
		Port		変更しないでください。
		AdditionalOption		周辺機器固有の設定値を指定します。
		Option 1~20	周辺機器固有の設定値を指定します。 ";" (セミコロン) で設定を区切って指定します。 例： EnableMode=None;RepayType=Amount "EnabledMode" は "None" または "Adjust" または "Repay" を指定します。 "RepayType" は "Amount" または "CashList" を指定します。	
	DeviceControlProgram2			
		ControlScript		デバイス制御プログラム名を指定します。 OposCATSTHandler と OposCashChangerHandler を指定します。
		Baudrate		周辺機器のシリアル通信設定を指定します。
		DataBit		
		FlowControl		
		Parity		
		StopBit		
		DeviceID		周辺機器のデバイス ID を指定します。 1 文字以上、30 文字以内の文字列 使用可能文字は、半角英数字 (0 ～ 9、a ～ z、A ～ Z)、 "_" (アンダーバー)、"." (ピリオド)、"-" (ハイフン) です。 他のデバイス ID と重複しないようにします。
		DeviceType		デバイス制御プログラムの種類を指定します。 type_cash_changer または type_cat を指定します。
		InterfaceNumber		変更しないでください。
		Port		変更しないでください。
		AdditionalOption		周辺機器固有の設定値を指定します。
		Option 1~20	周辺機器固有の設定値を指定します。 ";" (セミコロン) で設定を区切って指定します。 例： EnableMode=None;RepayType=Amount "EnabledMode" は "None" または "Adjust" または "Repay" を指定します。 "RepayType" は "Amount" または "CashList" を指定します。	